

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・美術 I	2	2	高等学校 美術 1 (光村図書)	なし
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
目標 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようとする。		造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。		主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
評価	・作品制作や鑑賞を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。			
学期	学習内容（単元）	到達目標		
1	○墨で描く ○絵巻物を楽しむ ○風景を描く ・水彩絵の具で描く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・墨による表現の豊かさを感じ取り、墨の特性を生かして作品を描く。</li> <li>・絵巻物の表現のおもしろさや工夫を感じ取る。</li> <li>・心ひかれる風景を、光を意識したり、構図を考えたりしながら水彩絵の具を用いて工夫して表す。</li> </ul>		
2	○身近なものを描く ・油彩画 ○テーマを決めて撮影する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるものを見つめ直し、描く方法を工夫して油彩で表す。</li> <li>・テーマを決め、光や構図などを意識して撮影し、シリーズの作品を作る。</li> </ul>		
3	○作家の生涯と作品 ・パブロ・ピカソ ○メッセージを広く伝える ・ポスターの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピカソの生涯や作品を知り、新たな表現を追求する姿勢を感じ取る。</li> <li>・伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインを工夫する。</li> </ul>		